# 2025年度募集 ムーンショット型研究開発事業 目標6提案書

|  |
| --- |
| **※提案書作成時、本注意事項は削除してください。**・以下の事項が遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。・すべての様式の書式設定、スタイル設定、行間サイズは変更しないでください。・すべての様式の本文のフォントサイズは10.5ポイント以上（厳守）としてください。・本注意事項や青字の記載ガイドは、提出時に削除してください。・e-Radにアップロードされた提案書に審査を困難とする不備がある場合は、不受理といたします。「審査を困難とする不備」とは、提案書各様式の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記載漏れ等を指します。なお、JSTは、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JSTは提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正もしくは、提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。また、募集締切後のe-Rad上での引戻し処理はできません。・e-Rad入力情報について、提案書の記載と相違が認められた場合は、提案書の記載を正として取り扱います。 |

**様式1　基本事項**

|  |
| --- |
| **0．提案する研究開発プロジェクトのテーマ** |
| 該当する公募テーマをいずれか一つ選択してください。公募テーマ詳細は、公募要領別紙3「PDの方針（目標6）」をご確認ください。公募テーマ　□１）量子コンピュータシステム　　　　　　□２）量子バス・量子通信ネットワーク□３）量子誤り訂正・誤り耐性理論　　　　　□４）量子誤り訂正システム（古典部分）□５）アプリケーション |
| **1．研究開発プロジェクト名（20文字程度）** |
| 提案する研究開発プロジェクト名を記入してください。 |
| **2．キーワード** |
| 提案する研究開発プロジェクトの特徴を表すキーワードを挙げてください（5つ以内）。 |
| **3．提案者（PM）に関する情報** |
| （フリガナ）氏名： |
| 所属機関・部署・役職：※「大学院〇〇研究科」「特任准教授」等、略さず正しく記入してください。「大学院」の表記漏れにご注意ください。 |
| e-Rad研究者番号：府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された 8桁の研究者番号を記載してください。 |
| 提案者の情報が掲載されたURL：（研究室ホームページ、researchmap等）論文データベース（ORCID・Web of Science・SCOPUS等）著者ID： |
| **4．提案者の学歴及び職歴** |
| ・学歴（大学卒業以降）（記入例）◯◯◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了◯◯◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得・職歴（記入例）◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当） |
| **5．研究開発プロジェクト概要（400字以内）** |
| ※ 本提案の目標および実施内容の概要を簡潔にまとめ、【400字】以内で記入してください。※ 図、表の使用はできません。 |
| **6．希望する研究開発費（PM採択から5事業年度（5年間の合計））** |
| ◯◯◯百万円（間接経費を含む）　　※ 【様式4】の金額と一致させてください。 |
| **7．提案者の研究開発プロジェクトのマネジメントへのエフォート** |
| 全仕事時間に占める、提案する研究開発プロジェクトのマネジメント活動時間の割合　　　◯◯％※ PMが課題推進者としても参画する場合の研究開発活動時間の割合は、様式別紙にご記載ください。 |
| **8．代表機関及びその調整状況** |
| 公募要領本紙3.6.2の通り、提案者がPMとして採択された場合、PMの雇用主の機関に、「代表機関」として、PM活動を支援していただきます。代表機関候補の名称、及び代表機関受任の合意状況についてご記入ください。未調整の場合は、採択後の作り込み終了時までに代表機関の合意を得ていただきます。代表機関候補名：◯◯大学 （企業を代表機関候補とする場合は、○○株式会社）代表機関候補との合意状況：[ ] 合意済　[ ] 調整中　[ ] 未調整（いずれか一つ選択してください）（「合意済」を選択した場合のみ）合意を得た機関の責任者の役職及び氏名：（記入例）学長 〇〇〇 |
| **9．主要な課題推進者候補に関する情報** |
| 課題推進者（PMの指示により研究開発プロジェクトにおける研究開発の分担内容を実施する者）候補のうち、主要な方について本欄に氏名と所属・役職を記入してください。主要な者がいない場合は、「特になし」と記述してください。また、主要な方を含め、課題推進者候補全員について、様式別紙「課題推進者候補情報シート」に詳細を記入してください。（記入例）主要な課題推進者候補１：科学 太郎（所属・役職）主要な課題推進者候補２：科学 花子（所属・役職）主要な課題推進者候補３：科学 三郎（所属・役職） |

**様式2　ムーンショット目標達成に至るまでのシナリオ**

※ 様式2は、A4用紙【4ページ】以内（厳守）としてください。

※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。

※ 公募要領別紙2「研究開発構想（目標6）」及び公募要領別紙3「PDの方針（目標6）」を必ずご確認ください。

**1．現時点から2050年のムーンショット目標達成に至るまでのシナリオ**

本提案による、現時点から2050年のムーンショット目標達成に至るまでのシナリオについて、必要に応じて適宜目標年次を挙げながらご説明ください。

なお、シナリオを策定する際には、ムーンショット目標達成時の科学技術的・社会的な要件を整理し、その要件を満たすための取り組みについてバックキャストの観点で段階を追って整理してください。

説明にあたっては、ムーンショット目標の達成が想定される時期および、ムーンショット目標が達成した場合の産業や社会へ与えるインパクトについても言及してください。

（1）研究開始から5年後までのシナリオ

【様式3】「3．提案する研究開発プロジェクトの内容と研究開発実施体制」のうち、研究開発プロジェクトの内容を要約してください。

（2）5年後から2050年までのシナリオ

「研究開始から5年後」(研究開発プロジェクト終了後)から目標達成までのシナリオを説明してください。必要に応じて、2050年の実現イメージを記載してください。特に本事業で得られた成果を用いて如何に民間主導で社会実装を進めるかについても記載してください。

**2．2050年のムーンショット目標達成に至るまでに克服すべき主要な課題、従来の取組、及び本提案によるその解決方策（考え方）**

2050年のムーンショット目標の実現に向けて解決が必要と考える、「克服すべき主要な課題」を挙げてください。さらに、それらの課題に対する「従来の取組」を提示の上、「本提案による解決方策」の考え方を、実現や普及の障壁となり得る科学技術課題、および社会受容性・規制・社会的経済性といった社会的課題に分けて、以下の項目に記載してください。なお、ここでは現時点から2050年までの約30年間のスパンの中で考えられる課題を記載してください。現時点から2030年度までの主要な課題、従来の取組、及び本提案によるその解決方策は【様式3】に記載してください。

「克服すべき主要な課題」は、多くの問題点を羅列するのではなく、主要なボトルネックとなり得る課題を抽出し、科学技術課題・社会的課題のそれぞれにおいて複数挙げてください。

「従来の取組」および「本提案による解決方策」の補足説明は、以下の項目別に記載します。

（1）克服すべき主要な科学技術課題

「従来の取組」については、それらの課題を解決するために国内外で行われている主要な取組を、複数挙げ、それらの取組では「克服すべき課題」の解決が難しく、2050年のムーンショット目標の達成が困難であると考える理由をご説明ください。なお、従来の取組については、提案者の専門分野・経験・実績による記載に限らないようにしてください。

「本提案による解決方策」については、科学的な裏付けに基づいた解決の仮説をご説明ください。解決方策の仮説や考え方とともに、従来の取組では解決の難しい課題を、なぜ本提案では解決できると考えているのか等、従来の取組と提案者のシナリオを比較しながら、その妥当性についても記載してください。必要に応じ、根拠となる文献等も示してください。

記述方法は特に指定しませんが、課題ごとの従来の取組・解決方策がわかるようにしてください。例えば以下のように項目別にする形などが考えられます。

* 1. 課題1：○○の精度が低く●●の問題があり、○○効率を△△から□□へ向上させる必要がある。
	従来の取組とその問題点：○○の性能向上に対し、△△の開発が必要であり、現状の●●法だと○○年○○兆円を要するといわれている。しかし～
	本提案による解決方策：～
	本提案の妥当性：～

参考文献）

Abcd,E., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX

* 1. 課題2：～
	従来の取組とその問題点：～
	本提案による解決方策：～

本提案の妥当性：～

参考文献）

Abcd,E., XXXXXXXXX,Journal of XX, pp.x-x, 20XX

（2）克服すべき主要な社会的課題（社会受容性・規制・経済性等）

「従来の取組」については、それらの課題を解決するために国内外で行われている主要な取組を、可能な限り挙げ、それらとの関係を記載してください。なお、従来の取組については、提案者の専門分野・経験・実績による記載に限らないようにしてください。

「本提案による解決方策」については、解決の仮説を説明するとともに、必要に応じて従来の取組との関係性や協力連携等の可能性もご説明ください。具体的な研究内容は【様式3】に記載いただきますので、ここでは解決方策の仮説や考え方を記載してください。必要に応じ、根拠となる文献等も示してください。

記述方法は特に指定しませんが、課題ごとの従来の取組・解決方策がわかるようにしてください。

**様式3　研究開発プロジェクト提案**

※ 様式3は、A4用紙【7ページ】以内（厳守）としてください。

※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。

※ 公募要領別紙2「研究開発構想（目標6）」及び公募要領別紙3「PDの方針（目標6）」を必ず参照してください。

提案者がPMとして採択された場合、「シナリオ」に基づいて検証可能な定量的目標である「研究開始から3年目および5年目のマイルストーン」を設定し、それを達成すべく、「研究開発プロジェクト」をマネジメントして頂きます。

提案者が考える「マイルストーン」について、以下でご説明ください。

【様式2】で説明されたシナリオ（以下、「シナリオ」という。）に基づき、マイルストーンとその達成に向けた研究開発プロジェクトの詳細を本様式で説明してください。

**1．研究開発プロジェクトのマイルストーン**

研究開始から3年目、5年目における達成目標（マイルストーン）とその設定理由を、以下の項目別に記述してください。マイルストーンとは、「研究開発成果を定量的に理解できる検証可能な達成目標」を指します。また、マイルストーンについてはその妥当性を選考の過程で議論すると共に、必要に応じて作り込み期間等に修正を行った上で、研究開発プロジェクト開始後、PDが行う進捗評価の指標として取り扱います。

なお、マイルストーンは論文や学会報告の件数を意味するものではありません。

（1）研究開始から5年目に達成を目指すマイルストーンとその設定理由

①マイルストーン

　2050年のムーンショット目標達成からバックキャストして策定した「シナリオ」に基づき、研究開始から5年目に達成を目指す、検証可能な定量的目標であるマイルストーン（複数可）を日本語および英語で記載してください。

1. マイルストーンの設定理由

　特に、5年目に設定することが妥当かつ適切な理由について、「シナリオ」における位置づけ・必然性とともに説明してください。

（2）研究開始から3年目に達成を目指すマイルストーンとその設定理由

①マイルストーン

　2050年のムーンショット目標達成からバックキャストして策定した「シナリオ」に基づき、研究開始から3年目達成を目指す、検証可能な定量的目標であるマイルストーン（複数可）を日本語および英語で記載してください。

②マイルストーンの設定理由

　特に、3年目に設定することが妥当かつ適切な理由について、5年目のマイルストーンからのバックキャストによる分析検討や、「シナリオ」における位置づけ・必然性などとともに説明してください。

**2．研究開発プロジェクトで克服すべき課題（研究開発項目）**

研究開始から5年目のマイルストーンを達成する上で、本研究開発プロジェクトで克服すべき重要な科学技術的・社会的課題を複数挙げ、定量的な表現も踏まえて、その内容を具体的に説明してください。また、それらの課題に対する従来の取組も提示し、従来の取組では解決が困難であることを説明してください。ここで記載される「克服すべき課題」は、提案する研究開発プロジェクトにおける研究開発項目と一致させてください。

【様式2】では、現時点から2050年までの約30年間のスパンの中で考えられる課題を記載しましたが、ここでは現時点から2030年度までの主要な課題、従来の取組、及び本提案によるその解決方策を記載してください。

**3．提案する研究開発プロジェクトの内容と研究開発実施体制**

「1．研究開発プロジェクトのマイルストーン」で述べたマイルストーンの達成に向けて、提案する研究開発プロジェクトの具体的な内容を、可能な限り詳細に説明してください。またその実施に当たっての研究開発体制について、主要な研究開発項目をどのように分担して研究開発を推進するか、という視点から図示してください。

「2．研究開発プロジェクトで克服すべき課題（研究開発項目）」で挙げた課題を解決するための解決方策や仮説を論理的に示した上で、研究開始から3年目・5年目のマイルストーンをどのように達成しようとしているのか、具体的かつ簡潔明瞭にご説明ください。

なお、提案する研究開発プロジェクトが、大胆な発想に基づいた独創性を有し、挑戦的であること、及び、克服すべき課題の解決が困難な場合のリスクヘッジが十分に考慮されていることについても、説明に含めてください。

それぞれ研究開発項目別の予算額と年次計画については、【様式4】に記入していただきます。

研究開発実施体制については、想定する課題推進者候補がいらっしゃる場合、具体的な氏名や所属を記載しても差し支えありません。氏名を記載した方については、様式別紙「課題推進者(PI)候補情報シート」を作成してください。ただし、課題推進者は研究開発プロジェクトの作り込みを経て確定しますので、提案書に記載したことを以て、計画や研究開発費を確約するものではありません（公募要領本紙3.1及び3.2をご参照ください）。下図は参考です。



**4．本研究開発プロジェクトにおける波及効果**

提案する研究開発プロジェクトが2030年度までにどのような成果を創出し、その成果が学術、産業、あるいは社会にどのような波及効果（インパクト）をもたらすか、簡潔にご説明ください。

**5．本研究開発プロジェクトの国際的位置づけおよび独創性・競争力**

提案する研究開発プロジェクトの国際的な位置づけ、独創性・競争力について、簡潔にご説明ください。

**6．従来の研究に対する本研究開発プロジェクトの挑戦性**

従来の研究開発に対して本研究開発プロジェクトがどのように違うアプローチをとり、それが従来の研究開発では進まなかった内容をどのように大幅に進歩させるかについて、その挑戦性について簡潔にご説明ください。

**様式4　研究開発プロジェクトの推進計画及び予算計画**

※ 様式4は、A4用紙【2ページ】以内（厳守）としてください。

※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。

**1．研究開発プロジェクトの推進計画**

　【様式3】に記入した「研究開発プロジェクト」の、具体的な推進計画を記述してください。なお、推進計画は研究開発プロジェクトの作り込みを経て確定しますので、提案書に記載したことを以て、計画や研究開発費を確約するものではありません（公募要領本紙3.1及び3.2をご参照ください）。

研究開発プロジェクトの推進計画の記入にあたっては、主要な研究開発項目ごとに、実施期間及び研究開発項目の研究開発費（5年間の総額。間接経費を含む）を記述してください。なお、研究開発項目の記載は、【様式3】研究開発プロジェクト提案「3．提案する研究開発プロジェクトの内容と研究開発実施体制」に沿ったものとしてください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 研究開発費（-2030年度） | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 2030年度 |
| （1）〇〇の機構開発 | XXX |  |  |  |  |  |
| （2）△△の機構開発 | XXX |  |  |  |  |  |
| （3）○と△との統合 | XXX |  |  |  |  |  |

（研究開発費（間接経費を含む）の単位：百万円、研究開発費は2030年度までの合計値）

**2．研究・開発環境**

研究・開発を実行する上で必要不可欠となる基幹設備や装置がある場合は記入してください。

（1）○○○○○○の発生装置　　　　 (設置場所：〇×大学、装置名：×××)

　〇〇実験を実施するための××発生装置

（2）△△△△△△の試験設備 (設置場所：△□研究所、装置名：×××)

△△試験を行うための〇×反復設備

**3．研究開発費の年次計画**

研究開発費の概算をご記入ください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 合計 |
| 研究開発費（間接経費含む） | 0 | XX | XX | XX | XX | XX | XXX |

　　　（単位：百万円）

※ 公募を2025年に実施するため2025年度の欄が準備されていますが、2025年度欄には“０”をご記入ください。

※ 研究開発プロジェクトの実施期間は、原則、5年間（2030年度まで）とします。また、2030年度以降も継続することが決定した場合においても、研究開発プロジェクトの実施期間は5年間（2030年度まで）とします。

**4．主な支出予定**

特に高額な機器・設備の導入や運用、外注等、提案するプロジェクト研究費から特に大きな支出を予定しているものがあれば、その摘要と支出予定額をご記入ください。記入対象は１件20百万円以上を目安とします。

(記入例)

（1）○○○○○○の購入　　　　 概算価格：XX百万円（購入予定：○年度）

（2）△△△△△△の導入 概算価格：XX百万円（導入予定：○年度）

（3）△△△△△△装置の運転経費 概算価格：XX百万円（導入予定：○年度）

* 研究開発プロジェクト提案書において、特に高額な機器・設備の導入等、施設を利用するのに必要となる運転経費、提案するプロジェクト研究費から特に大きな支出を予定しているものについて、摘要と支出予定額の記載を求めています。採択決定後、研究開発プロジェクトの作り込みの過程で、当該機器・設備の購入・運用・共用計画もブラッシュアップ頂きます。また、本事業で実施する各研究開発プロジェクトのより効果的・効率的な実施の観点から、サブPDやアドバイザー等の協力を得た PD の指揮の下で、購入機器・設備の調整（本事業におけるプロジェクト間での共用の検討を含む）を行うことがあります。

**様式5　提案者のマネジメント能力**

※ 様式5は、A4用紙【2ページ】以内（厳守）としてください。

※ 公募要領別紙1（目標6）「8 .選考の観点」もご参照ください。

**1．提案者のマネジメントに関する経験・実績**

研究開発や事業化等に関するマネジメントの経験・実績について、箇条書きで分かりやすく記述してください。経験・実績がない場合は「無し」と記述してください。

○ 他の研究資金制度等において**研究代表者**を務めた場合は、主要なものについて、研究課題名、研究経費と事後評価等を、下表を例として記述してください。

（記入例）複数の事例を記述する場合は、以下の表をコピーして使用しても構いません。

|  |  |
| --- | --- |
| 資金制度名 | ○○省○○研究拠点形成制度 |
| 期間（年度） | 年度～ 年度 |
| 研究課題名 | △△を用いた□□観測が拓く新しい○○科学 |
| 研究経費（直接経費） | ○○○百万円 |
| 事後評価結果 | Ｓ）優れた成果を挙げ、○○利用の促進に著しく貢献した。 |

○ 事業化に関する実績がある場合には、事業化における提案者の役割・貢献内容を記述してください。なお、事業の概要（事業内容、受注・売上実績等）を含めて記述してください。

**2．広範な分野の人々との情報交換や協働に関する提案者の実績**

研究者はもとより、国内外の関係者全てとの十分なコミュニケーションをとる能力を有していること、また、産学官の専門家とのネットワークと情報収集力を有していることがわかるよう、具体的な事例を含めてご説明ください。

広範な分野の人々との情報交換や協働に関する、提案者の実績をご記入ください。

**3．研究開発プロジェクトのマネジメント実施に向けた提案者の考え**

研究開発プロジェクトを推進するに当たり、PMがどのようなマネジメントを行うか記載してください。記載する観点としては、公募要領本紙3.6.1「PMの役割及び責務」の【PMが行う研究開発プロジェクトのマネジメント】を参照してください。

また、提案者がPM活動を進める上では、代表機関の支援は必要不可欠となります。代表機関においてどのようにPM活動を支援することを計画しているかを記載してください。併せて、その支援体制（例えば、研究開発の進捗管理等のマネジメントに関して日常的なサポートを行う専任スタッフや知的財産の取扱い方針の策定を行う専門家など）について規模や人数がわかるように記載してください。

**4．自己ＰＲ**

本提案の着想に至った経緯や、提案者や主要な課題推進者候補の様々な実績・開発能力・特技等のアピールや、提案者や主要な課題推進者候補自身が将来的に何をやりたいのか、またその内容と本提案とのかかわり等について、具体的なエピソードを挙げながら、自らの言葉で詳述してください。

また、3．に記載の研究開発プロジェクトのマネジメント（PM等の役割及び責務：公募要領本紙3.6.1参照）を進めるPMとして、提案者自身が適任であると考える理由を、提案者自身の具体的な経験や経歴、業績等に触れながら説明してください。

産学連携研究・開発に関して、既に産業界と協力して共同研究・開発を行い、その研究・開発成果が社会実装へつながった経験のある者はその経験についても記載してください。

**様式6　研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

※ 提案者が現在受給している、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費やその他の研究費(国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（＊）)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを、受給している研究費が多い順（ただし、研究費の多寡によらず、本事業は1番目に記入のこと）にご記入ください。また、研究以外の業務の概要とエフォートもご記入ください。

（＊）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

※ 記載内容が事実と異なる場合には、研究課題の不採択等を行うことがあります。

※ 面接選考の対象となった場合には、他制度への提案書、計画書等の提出を求める場合があります。

※ 締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することが出来ないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、エフォートのみ記入してください（審査の際に外部の専門家に提供されますので記載にはご留意ください）。

※ 受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究開発費(期間全体)が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記入してください。

※ 必要に応じて表、行を増減してください。

（1）現在申請中の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度・プログラム名****（配分機関名）** | **研究課題名****（代表者氏名）** | **研究****期間** | **役割****(代表/分担）** | **本人受給研究費****（直接研究費）****(1) 期間全体****(2) 2025年度 予定** | **2025年度エフォート(％)** |
| 1 | 【本事業】ムーンショット型研究開発事業 |  | 2026.4- | 代表（PM） |  | 30 |
| 2 | ムーンショット型研究開発事業 | 課題推進者として参画を予定する研究開発プロジェクト名（当該プロジェクトのPM候補者氏名）※提案者が課題推進者としても研究開発プロジェクトへ参画することを想定する場合は本欄にも記入し、課題推進者としてのエフォートを右欄に記載してください。 | 2026.4- | 分担（課題推進者） |  | 20 |
| 3 | JSPS科学研究費補助金基盤研究(S) | ××による◇◇の創成(○○○○) | 2025.10-2027.3 | 分担 | (1) 総額 XX.X百万円(2) X百万円 | 5 |
| 4 |  |  |  |  |  |  |

●現在応募中の研究課題と、本事業で提案する研究開発プロジェクトとの関連性及び相違点

　応募中の課題と本提案との関連性・相違点について、通し番号を引用しながら説明してください。本提案とすべての課題との関連性・相違点の記載を行ってください。本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

（2）現在受給中（採択され、受け入れ予定の状態のものを含む）の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度・プログラム名****（配分機関名）** | **研究課題名****（代表者氏名）** | **研究****期間** | **役割****(代表/分担）** | **本人受給研究費****（直接研究費）****(1) 期間全体****(2) 2025年度 予定** | **2025年度エフォート(％)** |
| 1 | JST戦略的創造研究推進事業 CREST | ××による◇◇の高機能化(○○○○) | 2019.10-2024.3 | 代表 | (1) 総額 XX.X百万円(2) X百万円 | 5 |

●現在受給中の研究課題と、本事業で提案する研究開発プロジェクトとの関連性及び相違点

　受給中の課題と本提案との関連性・相違点について、通し番号を引用しながら説明してください。なお、本提案とすべての課題との関連性・相違点の記載を行ってください。本事業以外の受給がない場合には記入不要です。

（3）その他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | エフォート(％) |
| □□大学 | 教授 | 学務 | 40 |
| 株式会社〇〇 | 取締役（非常勤） | 事業企画、経営企画の審議 | 3 |
| △△株式会社 | 顧問 | 研究開発の指導 | 2 |

**様式7　利益相反に関する情報**

## 1．利益相反マネジメントにかかる申告

* 【公募要領本紙「第2章2.1】に基づき、利害関係の有無について申告してください。記載にあたっては必ず該当箇所を参照してください。
* 評価者（PD、サブPD(PD補佐)、アドバイザー（AD））は、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/moonshot/program/goal6/index.html#advisors>

**【公募要領本紙「第2章2.1】に定める利害関係者の要件に関して、**

**該当なし**[ ] **該当あり**[ ]

※ 該当がない場合は、下記の表を削除してください。

※ 該当する場合には、どの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記入してください。記載内容に基づき利害関係にあるとJSTが判断した評価者は、提案書査読の担当から除外され、書類選考会での発言は控えるとともに、面接選考会では対面しない措置を講じます。

※ 提案者からJSTへの申告がない状態で、提案者とPD、サブPD及びADとの間に、利害関係の要件に該当することが確認された場合は、JSTにて相応の理由が認められない限り、プロジェクトの不採択や中止の措置を講じる場合があります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **該当する要件** | **該当する****評価者** | **理由** |
| 1 | c | △△　△△ | 提案者は、〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にてPDと共同研究を実施しており、利害関係者の要件のうち、cに該当する。 |
| 2 | e |  | 提案者の所属機関である株式会社○○は、サブPDの所属機関である株式会社△△と競争関係にある。 |
| 3 | d | ○○　○○ | 提案者は、20XX年～20XX年にかけてAD○○氏が運営する研究チームに所属しており、利害関係者の要件のうち、dに該当する。 |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |

※ 【公募要領本紙「第2章2.1」】に定める利害関係者の要件は以下のとおりです。

サブPDまたはADとの利害関係については、以下の「PD」を「PD、サブPD及びAD」として　読み替えてください。

a. PDと親族関係にある者

b. PDと大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者

c. PDと緊密な共同研究開発を行う者 (例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究開発メンバー、あるいはPDの他の研究開発課題の中での共同研究者等をいい、PDと実質的に同じ研究開発グループに属していると考えられる者）

d. PDと密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者

e. PDの研究開発プロジェクトと学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者

なお、提案書においては、PD、サブPD及びADとの利益相反関係についてのみ申告をしていただきますが、【公募要領本紙第2章2.2～2.4】のとおり、PMと課題推進者との利益相反関係、PMとPMに関係する機関との利益相反関係、JSTが出資している企業との利益相反関係について、面接選考の場で確認することがあります。このため、面接選考対象者には別途資料を提出いただく場合があります。

**様式別紙　「課題推進者(PI)候補情報シート」**

（1名あたり1ページ以内）

※ 提案する研究開発プロジェクトの課題推進者候補全員について、課題推進者候補毎に本シートをコピーしてご記入ください（※提案者が課題推進者も兼務する場合にも、課題推進者として本シートの提出が必要です。PDとの打ち合わせにより課題推進者の担当する課題に対して適宜変更・追加・削除しつつ実施します。提案書に記載されたことを以て当該課題推進者の参加を確約するものではありません) 。予算は5年間の総額をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **担当する分担内容と予算** | ○○の研究開発 (＊＊＊千円（間接経費含む）) |
| **課題推進者候補 氏名** |  |
| **所属機関名及び役職** |  |
| **課題推進者候補の必要性及び業績** |
| （1）当該課題推進者候補の役割と必要性当該課題推進者候補が、当該実施項目を担当する上でどのような役割を果たすことを想定しているか記載し、なぜ当該課題推進者候補が必要かつ最適であると考えるか、理由を簡明にご記入ください。（2）業績リスト上記を裏付ける、課題推進者候補の担当分野における特に重要な実績（査読つき論文、著書、表彰、特許、招待講演、国際機関での発表等）を最大5件、ご記載ください。著者・発表者等が複数の場合には、本欄で記入した課題推進者候補名に下線を引いてください。 |
| **合意状況・従事予定状況** |
| プロジェクトの参加に関する課題推進者候補本人の合意状況 | [ ] 合意済　[ ] 調整中　[ ] 未調整（いずれか一つをご選択ください） |
| プロジェクトへのエフォート | （全仕事時間に占める、プロジェクトの研究開発活動時間の割合）　　　％ |